

令和5年1月17日
東北森林管理局

令和4年度第3回東北森林管理局国有林材供給調整検討委員会の開催結果について

林野庁東北森林管理局では、需要急変時における国有林材の供給調整機能を発揮させるため、供給調整の必要性や調整を実施する際の方法等について、学識経験者、森林林業関係者、木材産業関係者から御意見をお伺いし、今後の国有林材の供給調整に役立てる取組を行っております。

この度、標記委員会を下記のとおり開催致しましたので、当局ホームページで概要等を公表致します。

記

- 1 日 時 令和4年12月19日（月） 15:00～17:00
- 2 開催場所 東北森林管理局 2階 大会議室
(秋田市中通五丁目9-16)
- 3 検討結果 昨年のウッドショックを受けて大型工場が春先から原木を大量に集荷していたことに加え、夏期においても民有林からの出材量が衰えなかったこと、さらには秋期に入っても製品需要の増加が見られなかったこと等から、管内の製品・原木の流通は著しく停滞している。各製材・合板・集成材工場における原木在庫量は適正量を大幅に超過した状態となっており、大手工場を中心に原木の受入れ制限が続けられている。その上、10月に管内合板工場において火災が発生し同工場の原木入荷が停止したことで、事態はさらに深刻化している。
製品価格は木材需要の低調により値下がり基調にあり、原木価格も夏前までをピークに下落している。こうした中、木材価格の更なる下落を防止するため、国有林では11月に「立木販売における搬出期間の延長措置」といった供給調整対策を行った旨報告がなされた。
今後の先行きについても輸入材の在庫消化が優先される影響で、国産材製品・原木の需要回復にはしばらく時間がかかることが見込まれる。加えて、冬山伐採の時期を迎えることから民有林の素材供給量の増加が見込まれており、原木の供給過剰に拍車がかかることも想定される。
一方で、製紙用・燃料用原木には継続して安定した引き合いが見込まれており、国有林からの安定的な出材が期待されている。また、今年度国有林から出材した役物・造作用の高品質原木には引き続き供給を求める声も聞かれる。

以上のことから、国有林に対しては、立木販売については引き続き供給調整を行いつつ、素材についても、管内の市況動向を注視しつつ、木材産業の収益性の確保と山元の伐採・再造林の意欲の維持を両立させることを目指して、量的・价格的な調整を必要に応じて適切に行っていくよう求める。



国民の森林・国有林

お問い合わせ先

林野庁 東北森林管理局 森林整備部 資源活用課

担当者：佐藤 勝

電話：018-836-2496（直通）

林野庁